

令和7年度
中和幹線 渋滞・安全対策協議会

渋滞対策・事故対策の実施状況について

令和8年3月24日

渋滞対策・事故対策の検討経緯

○第1回協議会(令和4年5月27日)

①県道中和幹線の現状

○県道中和幹線の交通状況を整理



○第2回協議会(令和4年10月25日)

②渋滞要因・事故要因の分析

○第1回協議会での意見を踏まえ、各交差点の渋滞要因を整理。また、想定される事故の原因(安全確認不足等の当事者のミス)から、道路環境の視点から見た事故を助長する要因を分析。

③考えられる渋滞対策案・事故対策案について

○整理した渋滞要因・事故要因に着目し、考えられる渋滞対策案・事故対策案を提案



○第3回協議会(令和4年12月23日)

④対策内容の選定

○整理した対策案について、道路管理者が実施する対策内容(短期対策と中長期対策)と公安委員会が実施する対策内容に分類。また、短期対策のうち、令和5年度から実施する対策を選定。



◎今回(令和8年3月24日)

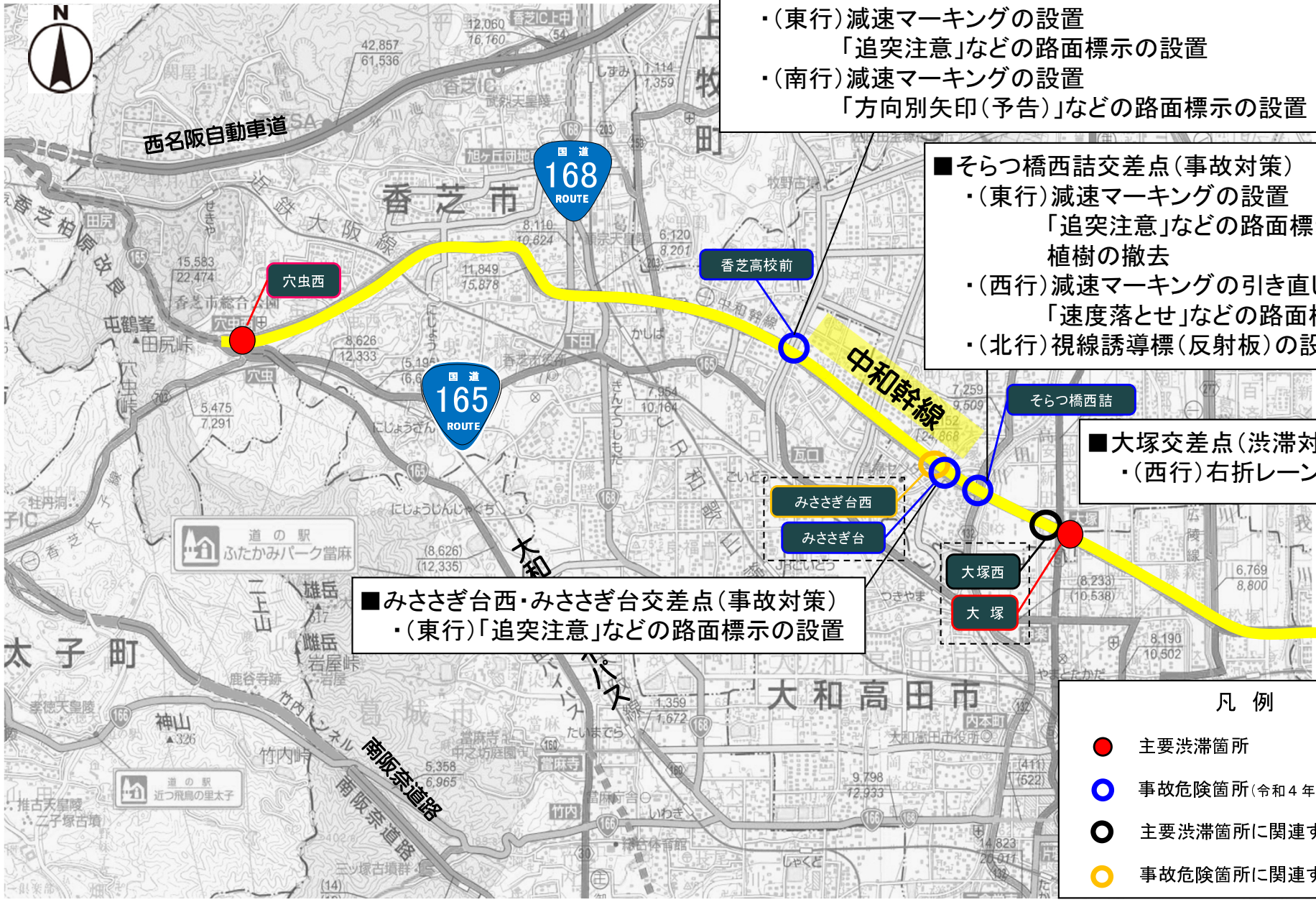
⑤対策案の実施状況

道路管理者が実施する短期対策のうち、令和5年度から実施した対策の実施状況を報告

令和5年度から実施する中和幹線の渋滞及び事故対策について

- ・前回協議会までに、道路管理者が実施する短期対策のうち、令和5年度から実施する対策を選定。
- ・今回は、この選定された対策について、進捗状況を報告する。

○香芝市・広陵町・大和高田市域の令和5年度から実施する対策



- 香芝高校前交差点(事故対策)
- ・(東行)減速マーキングの設置
「追突注意」などの路面標示の設置
 - ・(南行)減速マーキングの設置
「方向別矢印(予告)」などの路面標示の設置

- そらつ橋西詰交差点(事故対策)
- ・(東行)減速マーキングの設置
「追突注意」などの路面標示の設置
植樹の撤去
 - ・(西行)減速マーキングの引き直し
「速度落とせ」などの路面標示の設置
 - ・(北行)視線誘導標(反射板)の設置

- 大塚交差点(渋滞対策)
- ・(西行)右折レーン延伸

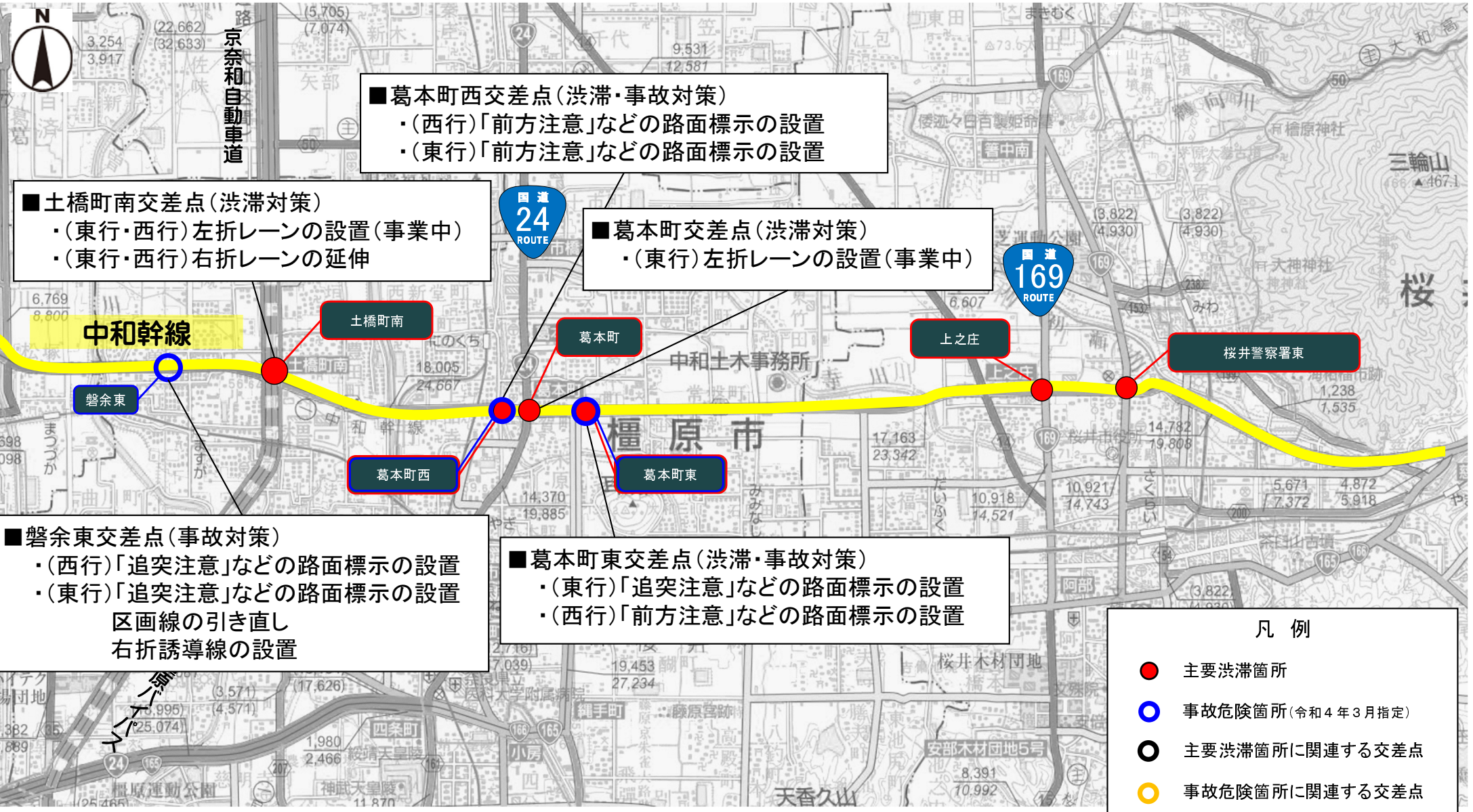
- みささぎ台西・みささぎ台交差点(事故対策)
- ・(東行)「追突注意」などの路面標示の設置

- 凡例
- 主要渋滞箇所
 - 事故危険箇所(令和4年3月指定)
 - 主要渋滞箇所に関連する交差点
 - 事故危険箇所に関連する交差点

令和5年度から実施する中和幹線の渋滞及び事故対策について

- ・前回協議会までに、道路管理者が実施する短期対策のうち、令和5年度から実施する対策を選定。
- ・今回は、この選定された対策について、進捗状況を報告する。

○橿原市・桜井市域の令和5年度から実施する対策



香芝高校前交差点(香芝市内)【事故要因】

(交差点形状・利用状況)

- ・中和幹線と4車線道路である(市)真美ヶ丘幹線が交差する交差点。
- ・交差点北西部には県立香芝高等学校があり、学生が利用している交差点。

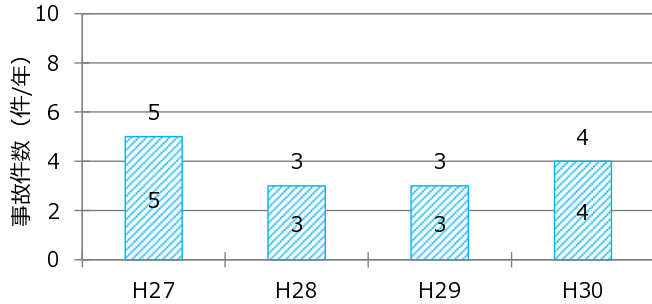
(着目すべき事故の特徴)

- ・①東行流入部での追突事故、②右折左折時での車両と歩行者・自転車の接触事故、③南行流入部での追突事故が発生している。

○死傷事故件数の推移

使用データ: 県警データ(H27~H30)

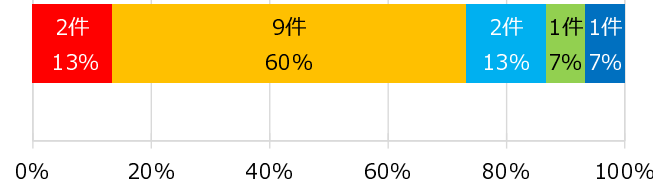
死亡 重傷 軽傷



○類型別事故件数・割合

使用データ: 県警データ(H27~H30)

対人車両(歩行者に限る) 追突 右折時 左折時 出会い頭
 正面衝突 追越追抜時 すれ違い時 その他 車両単独



③南行流入部での追突事故(4件/4年)

- ・市道中央側の直進レーンがそのまま右折レーンとなるため、急に車線変更する車両に追突すると想定される。

①東行流入部での追突事故(5件/4年)

- ・交差点流入部前まで下り勾配となっており、車両の速度が減速しにくいと想定される。
- ・交差点流入部直前までの区間が右カーブとなっており、交差点部の視認性が悪いと想定される。

②右折左折時での車両と歩行者・自転車の接触事故(4件/4年)

- ・植栽があるため歩行者、自転車の視認性が悪い。
- ・交差点が大きく、横断歩道が交差点から離れており(約20m)、右折左折車両の速度が大きくなり減速しにくいと想定される。

県立 香芝高等学校

平面図

写真①

至香芝市穴虫

写真②

縦断図(イメージ)

香芝高校前交差点

交差点流入部前まで下り勾配となっており、車両の速度が大きくなり、減速しにくいと想定される。

着目事故の抽出及び事故要因の分析 【香芝高校前交差点(香芝市内)】<B基準>

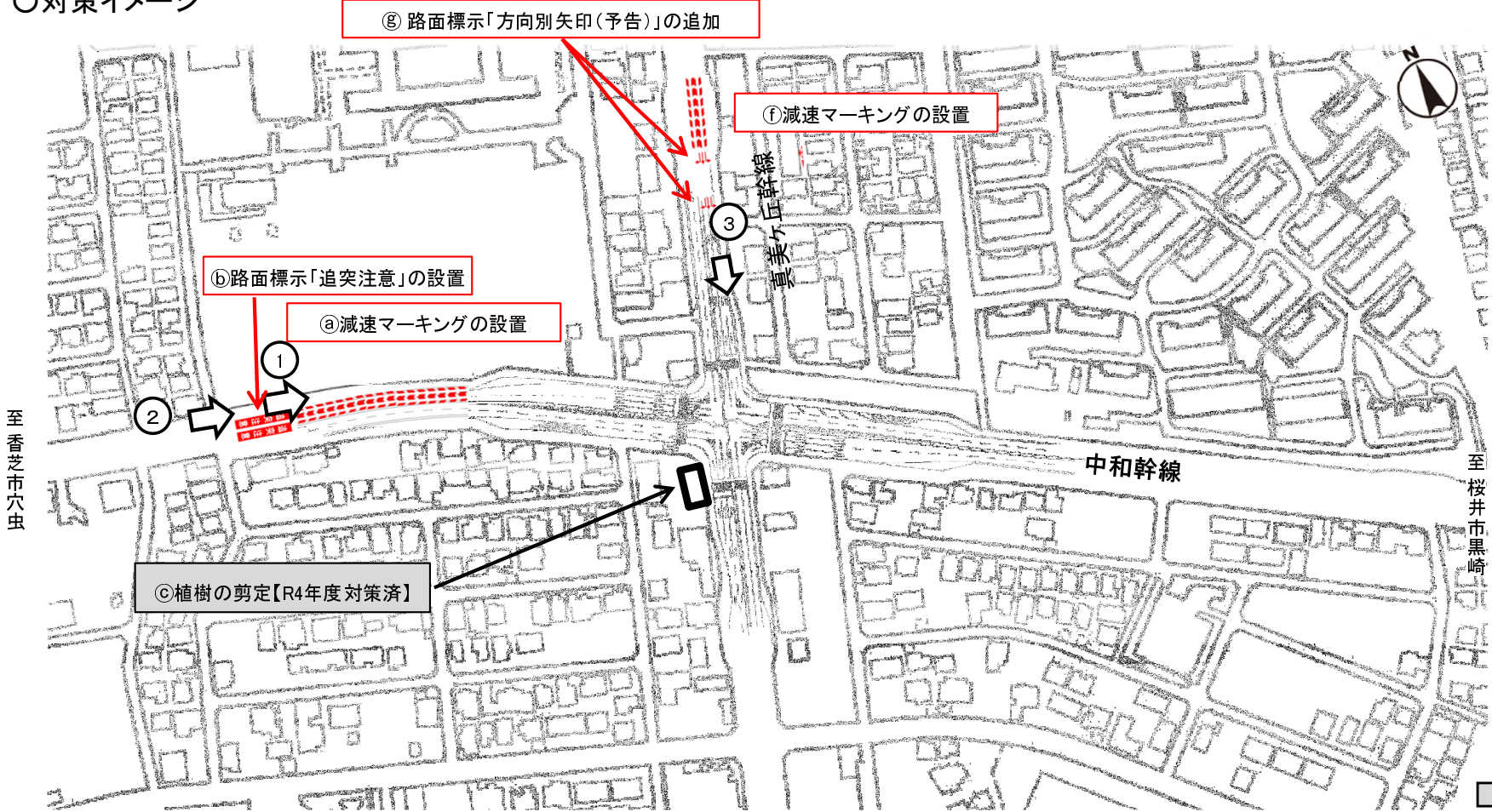
○現況状況写真



香芝高校前交差点(香芝市内)【令和5年度から実施した事故対策の進捗状況と現地状況】

方向	事故要因	対策内容	期待される効果	対策実施状況
東行(中和幹線)	○交差点流入部まで下り勾配となっており、減速しにくい。 ○交差点流入部直前までの区間が右カーブとなっており、交差点部の視認性が悪い。	㉓減速マーキングの設置	速度抑制	・対策済み(R6. 2)
		㉔路面標示「追突注意」の設置	追突への注意喚起	・対策済み(R6. 2)
南行(真美ヶ丘幹線)	○市道中央側の直進レーンがそのまま右折レーンとなるため、急に車線変更する車両に追突すると想定される。	㉕減速マーキングの設置	速度抑制	・対策実施予定(R8年度)
		㉖路面標示「方向別矢印(予告)」の追加	直進車への注意喚起	・対策実施予定(R8年度)

○対策イメージ



■ : 既存対策

着目事故の抽出及び事故要因の分析(R1~R7の事故状況) 【香芝高校前交差点(香芝市内)】<B基準>

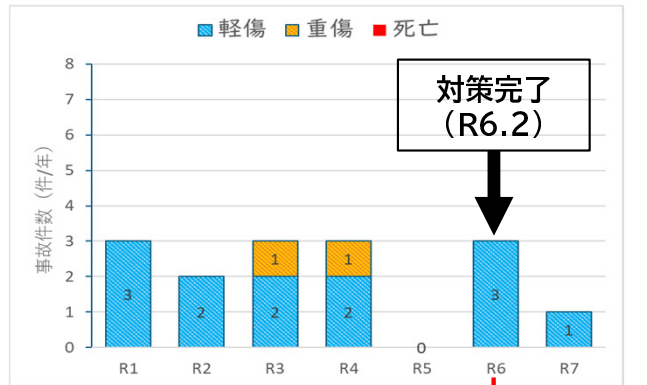
(交差点形状・利用状況)

- ・中和幹線と4車線道路である(市)真美ヶ丘幹線が交差する交差点。
- ・交差点北西部には県立香芝高等学校があり、学生が利用している交差点。

(着目すべき事故の特徴)

- ・令和6年2月に対策後、②右折左折時での車両と歩行者・自転車の接触事故、③南行流入部での追突事故が発生している。

○死傷事故件数の推移 使用データ: 県警データ(R1~R7)



対策前 約3件/年

対策後 約2件/年

①東行流入部での追突事故(0件/2年)

- ・交差点流入部前まで下り勾配となっており、車両の速度が減速しにくいと想定される。
- ・交差点流入部直前までの区間が右カーブとなっており、交差点部の視認性が悪いと想定される。

③南行流入部での追突事故(1件/2年)

- ・市道中央側の直進レーンがそのまま右折レーンとなるため、急に車線変更する車両に追突すると想定される。

県立 香芝高等学校

平面図

写真①

至香芝市穴虫

②右折左折時での車両と歩行者・自転車の接触事故(1件/2年)

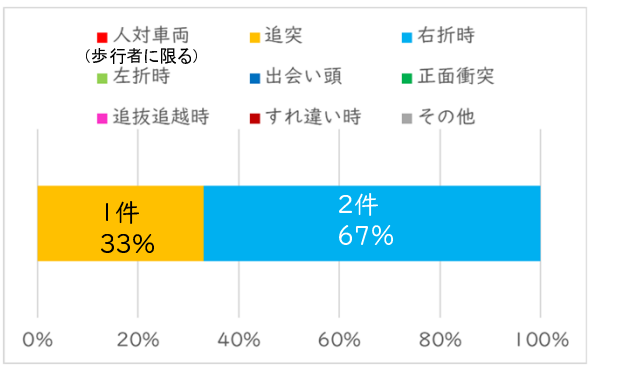
- ・植栽があるため歩行者、自転車の視認性が悪い。
- ・交差点が大きく、横断歩道が交差点から離れており(約20m)、右折左折車両の速度が大幅に減速しにくいと想定される。

写真②

※令和6年1月1日~令和7年以内に発生した事故を図にプロット

□: 対策後(令和6年2月以降)に発生した事故

○対策後の類型別事故件数・割合



使用データ: 県警データ(R6~R7)

対策により、事故件数は減少傾向にあるが、引き続き、モニタリングを実施する。